

取扱説明書

FlexScan® S1923

カラー液晶モニター

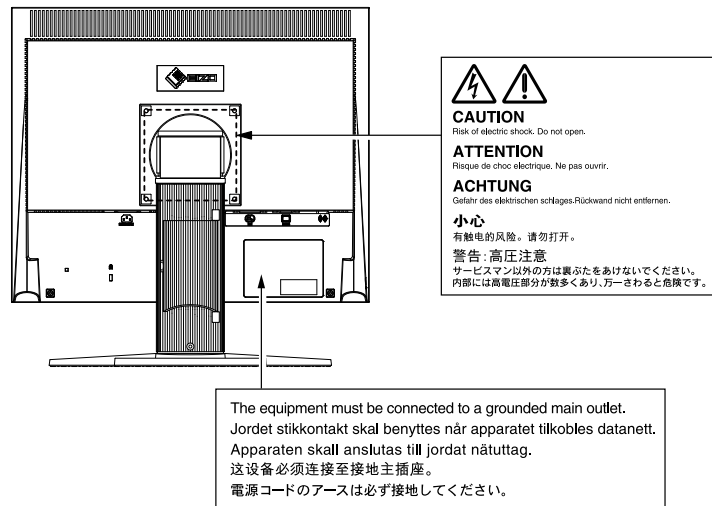
重要

ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社の Web サイトからダウンロードできます。
<http://www.eizo.co.jp>



【警告表示位置】



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCI の技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

Kensington、MicroSaver は ACCO Brands Corporation の登録商標です。

Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTime は Apple Inc. の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。

Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

EIZO、EIZO ロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManager は EIZO 株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げ使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「[クリーニングの仕方](#)」（P.5）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押ししたり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
 - シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
-

参考

- キャビネットやパネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。
-

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせてやさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

もくじ

表紙	1	2 - 12 EcoView Index でモニターの省電力の度合い を表示する	21
モニターについて	4	2 - 13 操作ボタンをロックする	21
もくじ	6	● 調整メニューでの調整 / 設定をロックする	21
第 1 章 特長と概要	7	2 - 14 DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替える	22
1 - 1 特長	7	2 - 15 EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り替える	22
1 - 2 各部の名称と機能	8	2 - 16 お買い上げ時の設定に戻す [リセット]	22
1 - 3 機能一覧と調整メニュー基本操作方法	10	● カラー調整値をリセットする	22
第 2 章 設定と調整をする	12	● すべての設定内容をリセットする	22
2 - 1 シンクオングリーン信号の設定をする	12	第 3 章 接続する	23
2 - 2 画像の解像度を設定する	12	3 - 1 複数のコンピュータを接続する	23
表示解像度	12	● 入力信号を切り替える	23
解像度の設定方法	13	● 入力信号の切替方法を設定する [入力信号] ...	23
2 - 3 ユーティリティディスクについて	14	第 4 章 こんなときは	24
● ディスクの内容と概要	14	第 5 章 ご参考に	26
● ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) / EIZO ScreenSlicer を使用するとき	14	5 - 1 オプションアーム取付方法	26
2 - 4 画面の調整をする	15	5 - 2 省電力モードについて	27
デジタル信号入力の場合	15	5 - 3 仕様	28
アナログ信号入力の場合	15	5 - 4 用語集	30
2 - 5 カラー調整をする	18	5 - 5 プリセットタイミング	32
● 表示モード (FineContrast (ファインコントラスト) モード) を選ぶ	18	第 6 章 アフターサービス	33
● 詳細な調整をする	18		
● 各モードの調整項目	18		
● カラーを調整 / 設定する	19		
2 - 6 モニターの電源を自動的に切る [Eco タイマー]	20		
2 - 7 調整メニューの表示位置を設定する [メニューポジション]	20		
2 - 8 電源ランプの点灯 / 消灯を切り替える [電源ランプ]	20		
2 - 9 モニター情報を表示する [インフォメーション]	20		
2 - 10 表示言語を設定する [言語]	21		
2 - 11 モニターの自動明るさ調整のオン / オフを 切り替える [Auto EcoView]	21		

第1章 特長と概要

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1 特長

- 解像度1280×1024対応
- ステレオスピーカー搭載
- 省電力機能
消費電力*を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。
この製品は省電力のためのさまざまな機能を搭載しています。
 - Auto EcoView 機能
モニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。
不必要に高い輝度は、環境にも目にも負荷を与えます。輝度を抑えることにより、消費電力の削減と、目への負担を軽減します。
「2-11 モニターの自動明るさ調整のオン/オフを切り替える [Auto EcoView]」(P.21) 参照
 - EcoView Index 機能搭載
モニターの輝度に応じた省電力の度合いと、電力削減量、CO₂削減量を表示します。
省電力の度合いを意識することで、消費電力の削減につながります。
「2-12 EcoView Index でモニターの省電力の度合いを表示する」(P.21) 参照
- FineContrast (ファインコントラスト) 機能を搭載し、表示画像に適した表示モードを選択可能
 - 紙に印刷した際の見え方を再現した Paper モードを搭載
「●表示モード(FineContrast(ファインコントラスト)モード)を選ぶ」(P.18) 参照
- 縦型表示対応
- マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア
「ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)」添付
「2-3 ユーティリティディスクについて」(P.14) 参照
- HDCP (著作権保護技術) により保護されたコンテンツを表示可能

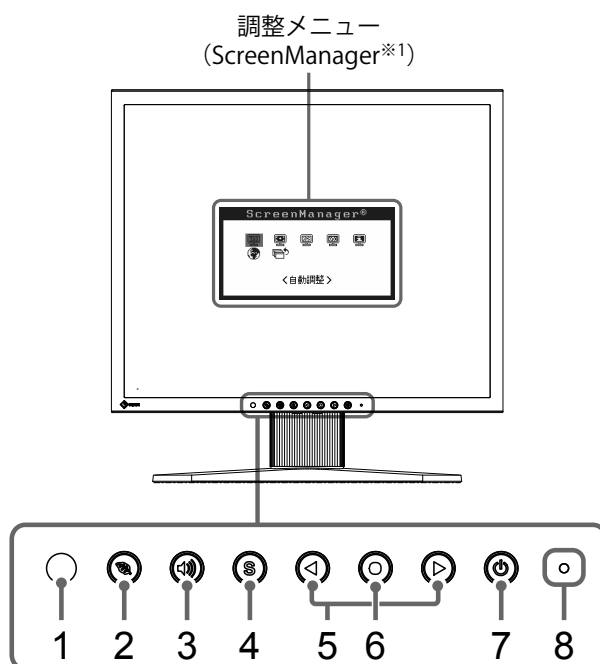
*参考値

最大消費電力 41W
(輝度最大、製品初期値)
標準消費電力 16W
(輝度 120cd/m²、製品初期値)

参考

- モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社の Web サイトもあわせて参照してください (<http://www.eizo.co.jp>)。

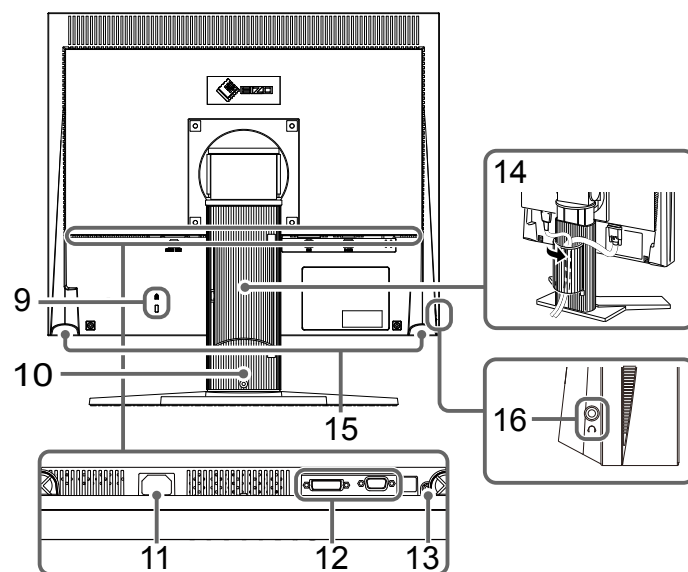
1 - 2 各部の名称と機能 前面



1	センサー	周囲の明るさを検知します。Auto EcoView(オートエコビュー)機能(P.21)
2	EcoViewボタン	Auto EcoViewの設定画面およびEcoView Index(エコビューインデックス)を表示します。(P.21)
3	音量調整ボタン	音量設定画面(P.10)を表示します。
4	入力切替ボタン	表示する入力信号を切り替えます。
5	コントロールボタン (左、右)	<ul style="list-style-type: none"> 明るさ調整画面(P.10)を表示します。 調整メニューを使って詳細な調整をする場合に(P.11)、調整項目を選択したり、調整値を増減します。
6	エンターボタン	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
7	電源ボタン	電源のオン/オフを切り替えます。
8	電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青：画面表示 橙：省電力モード 消灯：電源オフ

※1 ScreenManagerは当社調整メニューのニックネームです。使用方法は、「調整メニューの基本操作方法」(P.11)を参照してください。

背面



9	盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
10	スタンド ^{※2}	高さと角度(チルト、スウィーベル)が調整できます。
11	電源コネクタ	電源コードを接続します。
12	信号入力コネクタ	左：DVI-Dコネクタ/右：D-Sub15ピン(ミニ)コネクタ
13	ステレオミニジャック	ステレオミニジャックケーブルを接続します。
14	ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。
15	スピーカー	音声を再生します。
16	ヘッドホンジャック	ヘッドホンを接続します。

※2 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。（「5-1 オプションアーム取付方法」(P.26) 参照）

1 - 3 機能一覧と調整メニュー基本操作方法

画面・カラーを調整したいときは

● メインメニュー（操作方法は P.11 参照）



調整メニューと EcoView メニューを同時に表示させることはできません。

● EcoView メニュー

- モニターの自動明るさ調整のオン/オフを切り替える [Auto EcoView] P.21 参照
 - 1 を押します。
 - 2 または を押してオン/オフを切り替えます。
- EcoView Index でモニターの省電力の度合いを表示する P.21 参照
 - を押して表示します。



明るさを調整する

または を押して調整します。

音量を調整する

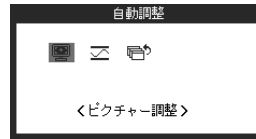
1 を押します。



2 または を押して調整します。

アナログ信号入力の場合のみ

1 画面調整をする（自動調整） P.15 参照



- ちらつきや位置を調整する [ピクチャー調整] P.15 参照
- 色階調を自動調整する [レンジ調整] P.17 参照

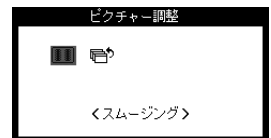
2 画面調整をする（詳細調整） P.16 参照

[調整メニュー]

[アナログ信号入力時]



[デジタル信号入力時]



- 縦縞を消す [クロック*] P.16 参照
 - ちらつきやにじみをとる [フェーズ*] P.16 参照
 - 表示位置のずれを直す [水平ポジション*] P.17 参照
[垂直ポジション*] P.17 参照
 - 文字や線のぼやけを直す [スムージング] P.17 参照
- 「*」はアナログ信号入力の場合に調整できます。

カラー調整をする P.18 参照



- 表示モード (FineContrast (ファインコントラスト) モード) を選ぶ P.18 参照
- 「Custom/EyeCare/Paper/Text/sRGB」それぞれのモードに対して、「ブライトネス/コントラスト/色温度/ゲイン」の設定ができます。表示モードごとに設定できる機能は異なります。

お買い上げ時の設定に戻す

- カラー調整値をリセットする [リセット] P.22 参照

便利な設定や調整をしたいときは

● メインメニュー（操作方法は下記参照）

The diagram illustrates the navigation flow from the main menu. The main menu, titled "ScreenManager®", contains several icons. One icon leads to the "情報を見る" (View Information) screen, which displays monitor specifications like "アナログ入力 1024x768" and "fH: 48.3kHz". Another icon leads to the "表示言語を設定する" (Set Display Language) screen, which lists various languages such as English, Deutsch, Français, Español, Italiano, Svenska, and Japanese. A third icon leads to the "入力信号" (Input Signal) screen, which shows different input options. Below these screens, there are detailed instructions for each setting, including how to set input signal switching, monitor power saving, menu position, power lamp, and return to factory defaults. A dashed box contains additional settings like sink-on-green, button lock, DDC/CI, and EIZO logo display.

情報を見る P.20 参照

インフォメーション(1/2)

アナログ入力
1024x768
fH: 48.3kHz
fV: 60.0Hz

● モニター情報を表示する [インフォメーション]

表示言語を設定する P.21 参照

言語選択

English Deutsch
 Français Español
 Italiano Svenska
 簡体中文 繁體中文
 日本語

● 表示言語を設定する [言語選択]

入力信号の切替方法を設定する

● 入力信号の切替方法を設定する
[入力信号] P.23 参照

モニターの自動電源切断機能を設定する

● モニターの電源を自動的に切る
[Eco タイマー] P.20 参照

調整メニューの表示位置を設定する

● 調整メニューの表示位置を設定する
[メニューポジション] P.20 参照

電源ランプを設定する

● 電源ランプの点灯 / 消灯を切り替える
[電源ランプ] P.20 参照

お買い上げ時の設定に戻す

● すべての設定内容をリセットする
[リセット] P.22 参照

● シンクオングリーン信号の設定をする
..... P.12 参照

● 操作ボタンをロックする
..... P.21 参照

● DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替える
..... P.22 参照

● EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り替える
..... P.22 参照

調整メニューの基本操作方法

[調整メニューの表示と機能の選択]

- (1) 操作ボタンの ● を押します。メインメニューが表示されます。
- (2) 操作ボタンの ◀ または ▶ で機能を選択し、 ● を押します。サブメニューが表示されます。
- (3) 操作ボタンの ◀ または ▶ で機能を選択し、 ● を押します。調整/設定メニューが表示されます。
- (4) 操作ボタンの ◀ または ▶ で調整し、 ● を押します。設定が確定します。

[調整メニューの終了]

- (1) サブメニューで<リターン>を選択し、 ● を押します。メインメニューが表示されます。
- (2) メインメニューで<メニューオフ>を選択し、 ● を押します。調整メニューが終了します。







参考

- ボタンをすばやく続けて2回押しても調整メニューを終了させることができます。

第2章 設定と調整をする

2-1 シンクオングリーン信号の設定をする

シンクオングリーン信号を入力する場合は、次の手順に従って、事前にモニターの [SoG] 設定を変更する必要があります（アナログ信号入力時）。

- (1)  を押して、モニターの電源を切ります。
- (2)  を押しながら、 を押してモニターの電源を入れます。
- (3)  または  で「オン」を選択し、 を押します。

2-2 画像の解像度を設定する

表示解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

アナログ信号入力時

解像度	垂直走査周波数	ドットクロック
640 × 480 (VGA, VESA)	～ 75 Hz	135 MHz (最大)
720 × 400 (VGA TEXT)	70 Hz	
800 × 600 (VESA)	～ 75 Hz	
1024 × 768 (VESA)	～ 75 Hz	
1152 × 864 (VESA)	75 Hz	
1280 × 960 (VESA)	60 Hz	
1280 × 1024 (VESA) ※	～ 75 Hz	

デジタル信号入力時

解像度	垂直走査周波数	ドットクロック
640 × 480 (VGA)	60 Hz	108 MHz (最大)
720 × 400 (VGA TEXT)	70 Hz	
800 × 600 (VESA)	60 Hz	
1024 × 768 (VESA)	60 Hz	
1280 × 1024 (VESA) ※	60 Hz	

VESA規格に準拠したグラフィックスボードが必要です。

※ 推奨解像度です。（この解像度に設定してお使いください。）

解像度の設定方法

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

● Windows 8 / Windows 7 の場合

1. Windows 8 の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
5. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
6. 選択したら、[OK] ボタンをクリックします。
7. 確認のダイアログボックスが表示されるので、[変更を維持する] ボタンをクリックします。

● Windows Vista の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、[OK] ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、[はい] ボタンをクリックします。

● Windows XP の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、[OK] ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

● Mac OS X の場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2 - 3 ユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」(CD-ROM)が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は、次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtを参照してください。

内容	概要	Windows	Macintosh
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。	○	○
ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)	マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェアです。	○	-
EIZO ScreenSlicer	画面を分割して、複数のウィンドウを効率よく配置するソフトウェアです。	○	-
モニターの取扱説明書 (PDFファイル)		○	○
Readmeja.txtファイル		○	○

● ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) / EIZO ScreenSlicer を使用するときは

ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) / EIZO ScreenSlicer のインストール方法、使用方法については、ディスク内のそれぞれの取扱説明書を参照してください。

2 - 4 画面の調整をする

デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、文字や線がぼやけている場合は、手順6の「**●文字や線のぼやけを直す [スムージング]**」(P.17)にお進みください。さらに詳細な調整をおこなう場合は「2 - 5 カラー調整をする」(P.18)以降を参照してください。

アナログ信号入力の場合

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

以下の条件をすべて満たした場合にセルフアジャスト機能が働きます。

- ・モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合
- ・垂直解像度が480を超える信号を入力している場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、以下の調整手順に従って画面の調整をしてください。

[調整手順]

1 自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する

[ピクチャー調整]

- (1) <自動調整>メニューで<ピクチャー調整>を選択し、**●**を押します。
<自動調整>メニューが表示されます。
- (2) **◀**または**▶**で<実行>を選択し、**●**を押します。
自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

1の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順5の「**●色階調を自動調整する [レンジ調整]**」(P.17)にお進みください。

2 アナログ画面調整用のパターンを準備します。

「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整パターン集」を開きます。

【注意】

- ・調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。(内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。)
- ・セルフアジャスト機能/自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
 - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
 - 壁紙など背景を黒で使用している場合また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

【参考】

- ・「画面調整パターン集」の開きかたおよび内容については、Readmeja.txtを参照してください。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する [ピクチャー調整]

(1) 「画面調整パターン集」のパターン1を全画面に表示します。



(2) <自動調整>メニューで<ピクチャー調整>を選択し、●を押します。

<自動調整>メニューが表示されます。

(3) ◀または▶で<実行>を選択し、●を押します。

自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

3の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順5の「●色階調を自動調整する [レンジ調整]」(P.17)にお進みください。

4 調整メニューの<ピクチャー調整>メニューで詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す [クロック]

(1) <ピクチャー調整>メニューで<クロック>を選択し、●を押します。

<クロック>メニューが表示されます。

(2) ◀または▶で縦縞が消えるように調整し、●を押します。調整が完了します。



● ちらつきやにじみをとる [フェーズ]

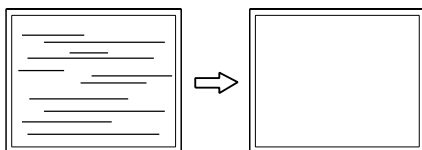
調整範囲：0～63

(1) <ピクチャー調整>メニューで<フェーズ>を選択し、●を押します。

<フェーズ>メニューが表示されます。

(2) ◀または▶で最もちらつきやにじみのない画面に調整し、●を押します。

調整が完了します。



参考

- 調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。
- 調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「●ちらつきやにじみをとる [フェーズ]」(P.16)にすみ調整をおこなってください。

注意点

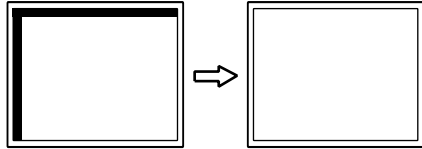
- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。

参考

- 調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「●縦縞を消す [クロック]」(P.16)に戻り、再度調整をおこなってください。(クロック→フェーズ→ポジション)

● 表示位置のずれを直す [水平ポジション] [垂直ポジション]

- (1) <ピクチャー調整>メニューで<水平ポジション>および<垂直ポジション>をそれぞれ選択し、●を押します。
<水平ポジション>または<垂直ポジション>メニューが表示されます。
- (2) 画像の位置が合うように◀または▶で調整し、●を押します。
調整が完了します。



参考

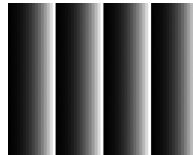
- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

5 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する [レンジ調整]

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調 (0 ~ 255) を表示できるように調整できます。

- (1) 「画面調整パターン集」のパターン2を全画面に表示します。



- (2) <自動調整>メニューで<レンジ調整>を選択し、●を押します。
- (3) ◀または▶で<実行>を選択し、●を押します。
出力レンジが自動的に調整されます。
- (4) パターン2を閉じます。

6 文字や線のぼやけを直します。

● 文字や線のぼやけを直す [スムージング]

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

調整範囲：1 ~ 5

- (1) <ピクチャー調整>メニューで<スムージング>を選択し、●を押します。
<スムージング>メニューが表示されます。
- (2) ◀または▶で調整し、●を押します。
設定が完了します。






2 - 5 カラー調整をする

● 表示モード（FineContrast（ファインコントラスト）モード）を選ぶ

モニターの明るさなどを表示画像に適した表示モードに切り替えることができます。

FineContrast（ファインコントラスト）モードの種類

モード	目的
Custom	お好みの設定にすることができます。
EyeCare	他のモードに比べて、画面の明るさを低く設定することができます。
Paper	紙に印刷したような見え方になります。書籍や文書などの表示に適しています。
Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。
sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適していません。

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、を押します。
- (2) <カラー>メニューで<カラーモード>を選択し、を押します。
<カラーモード>メニューが表示されます。
- (3) またはでモードを選択し、を押します。
設定が完了します。

● 詳細な調整をする

FineContrast（ファインコントラスト）のモードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

● 各モードの調整項目

FineContrast（ファインコントラスト）モードの種類により、調整できる機能が異なります。

○：調整可 —：調整不可






アイコン	機能名	ファインコントラストモード				
		Custom	EyeCare	Paper	Text	sRGB
	ブライトネス	○	○	○	○	○
	コントラスト	○	—	—	○	—
	色温度	○	○	—	○	—
	ゲイン	○	○	—	—	—
	リセット	○	○	○	○	○

参考

- ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) を使うと、使用するアプリケーションにあわせて、FineContrast（ファインコントラスト）モードが自動で切り替わります。（ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) の取扱説明書「第3章 オートファインコントラスト」参照）

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください。（[「色階調を自動調整する \[レンジ調整\]」](#) (P.17) 参照）
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせる場合は、視覚的に判断しながら微調整してください。

メニュー	内容	調整範囲
ブライツネス 	画面全体の明るさを好みの状態に調整します。 参考 ・「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。 ・調整メニューが表示されていない状態から ◀ または ▶ を押しても、明るさの調整ができます。調整後は ● を押してください。 ・ブライツネスが100%でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。	0~100%
コントラスト 	画像のコントラストを調整します。 参考 ・「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。 ・50%ですべての色階調を表示します。 ・画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライツネスで調整することをお勧めします。 ・コントラスト調整は次のような場合に使用してください。 - ブライツネスが100%でも画面が暗いと感じたとき。(コントラストを50%以上に設定します。)	0~100%
色温度 	色温度を選択します。 参考 ・調整値を「オフ」に設定すると、パネル本来の色になります。 ・「K」表示は調整値の目安としてご利用ください。	オフ、5000K、6500K、9300K
ゲイン 	赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にします。 注意点 ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 参考 ・「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。 ・ゲイン設定時、色温度は「オフ」になります。 ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。	0~100% 赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、任意の色調を作ります。背景が白またはグレーの画像を表示して調整してください。
リセット 	選択しているファインコントラストモードのカラー調整状態をすべて初期状態に戻します。	

参考

- ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) を使うと、マウスとキーボードの操作でカラー調整をおこなうことができます。また、調整状態をカラーデータとして保存し、読み込むこともできます。(ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) の取扱説明書「第4章 カラー調整」参照)

● カラーを調整 / 設定する

- 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、●を押します。
- <カラー>メニューで調整したい機能を選択し、●を押します。
選択した機能メニューが表示されます。
- ◀ または ▶ で調整し、●を押します。
設定が完了します。

2 - 6 モニターの電源を自動的に切る [Eco タイマー]

モニターの省電力モードが一定時間続いた時に、モニターの電源を自動的に切る/切らないの切り替えができます。

設定範囲：無効、有効 (0、1、2、3、5、10、15、20、25、30、45min、1~5h)

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、**●**を押します。
- (2) <その他>メニューで<Ecoタイマー>を選択し、**●**を押します。
<Ecoタイマー>メニューが表示されます。
- (3) **◀**または**▶**で「有効」または「無効」を選択します。
「有効」を選択した場合は、**◀**または**▶**でモニターの電源が切れるまでの時間を選択します。
- (4) **●**を押します。
設定が完了します。

2 - 7 調整メニューの表示位置を設定する [メニューポジション]

調整メニューの表示位置を移動できます。

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、**●**を押します。
- (2) <その他>メニューで<メニューポジション>を選択し、**●**を押します。
<メニューポジション>メニューが表示されます。
- (3) **◀**または**▶**で位置を移動し、**●**を押します。
設定が完了します。

2-8 電源ランプの点灯 / 消灯を切り替える [電源ランプ]

画面表示時の電源ランプ (青) の点灯/消灯の切り替えができます。

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、**●**を押します。
- (2) <その他>メニューで<電源ランプ>を選択し、**●**を押します。
<電源ランプ>メニューが表示されます。
- (3) **◀**または**▶**で「有効」または「無効」を選択し、**●**を押します。
設定が完了します。

2 - 9 モニター情報を表示する [インフォメーション]

入力信号、解像度、機種名などを表示します。

インフォメーション1/3	入力信号、解像度、水平・垂直走査周波数
インフォメーション2/3	DDC/CI有効/無効、SoG (シンクオングリーン) オン/オフ
インフォメーション3/3	機種名、製造番号、使用時間

- (1) 調整メニューの<インフォメーション>メニューを選択し、**●**を押します。
<インフォメーション>メニューが表示されます。
- (2) 続けて**●**を押して、設定状況などを確認します。

参考

- ・工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

2 - 10 表示言語を設定する [言語]

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、中国語（簡体）、中国語（繁体）、日本語

- (1) 調整メニューの<言語選択>メニューを選択し、**●**を押します。
<言語選択>メニューが表示されます。
- (2) **◀**または**▶**で言語を選択し、**●**を押します。
設定が完了します。

2 - 11 モニターの自動明るさ調整のオン/オフを切り替える [Auto EcoView]

Auto EcoView（オートエコビュー）をオンにするとモニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。

- (1) **☰**を押します。
<Auto EcoView>メニューが表示されます。
- (2) **◀**または**▶**で「オン」または「オフ」を選択し、**●**を押します。
設定が完了します。

2 - 12 EcoView Index でモニターの省電力の度合いを表示する

モニターの輝度に応じた省電力の度合いと、電力削減量、CO₂削減量を表示します。

- (1) **☰**を押します。
EcoView Indexが表示されます。
インジケータが右方向に点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。



2 - 13 操作ボタンをロックする

調整/設定した状態を変更できないようにします。

● 調整メニューでの調整 / 設定をロックする

- (1) **⏻**を押して、モニターの電源を切ります。
- (2) **S**を押しながら、**⏻**を押してモニターの電源を入れます。
操作を実行するたびにロック/ロック解除が切り替わります。

参考

- Auto EcoView 機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

参考

電力削減量：ブライトネスの調整値に応じた、バックライト消費電力の低減量です。

CO₂削減量：電力削減量から換算した、モニターを1時間使用した場合に削減できるCO₂排出量の目安です。




*数値は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令（平成18年経済産業省・環境省令第3号）に定めるデフォルト値（0.000555t-CO₂/kWh）」を元に算出しており、国、年度などによって変わる可能性があります。

参考

- ロックした状態でも次の操作は可能です。
- 電源ボタンによる電源オン / オフ




2 - 14 DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替える

DDC/CI通信の有効/無効を切り替えます。

- (1)  を押して、モニターの電源を切ります。
- (2)  を押しながら、 を押してモニターの電源を入れます。
操作を実行するたびに有効/無効が切り替わります。

2 - 15 EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り替える

この製品の電源を入れた時に、EIZOロゴが表示されます。このロゴの表示/非表示の切り替えができます。






- (1)  を押して、モニターの電源を切ります。
- (2)  を押しながら、 を押してモニターの電源を入れます。
操作を実行するたびに表示/非表示が切り替わります。

2 - 16 お買い上げ時の設定に戻す [リセット]

リセットには、カラー調整のみを工場出荷状態に戻すリセットと、すべての設定内容を工場出荷状態に戻すリセットの2種類があります。






● カラー調整値をリセットする

現在選択しているFineContrast（ファインコントラスト）モードのカラー調整値のみを初期状態（工場出荷状態）に戻します。

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、 を押します。
- (2) <カラー>メニューで<リセット>を選択し、 を押します。
- (3)  または  で「リセット」を選択し、 を押します。
カラー調整値が初期状態になります。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期状態（工場出荷状態）に戻します。

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 を押します。
- (2) <その他>メニューで<リセット>を選択し、 を押します。
- (3)  または  で「リセット」を選択し、 を押します。
すべての設定内容が初期状態になります。

参考

- DDC/CIの有効 / 無効の状態は、<インフォメーション>で確認することができます。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

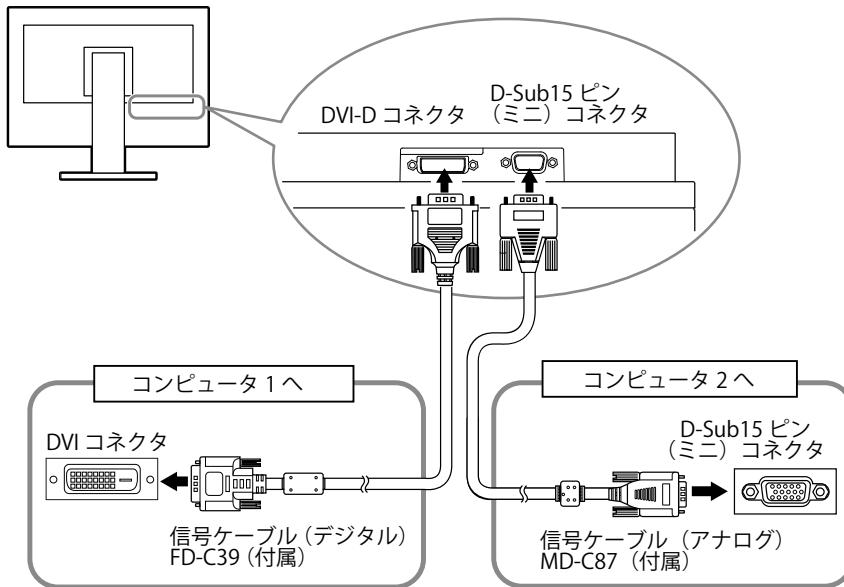
- 初期設定値は、「[主な初期設定（工場出荷設定）値](#)」(P.29)を参照してください。

第3章 接続する

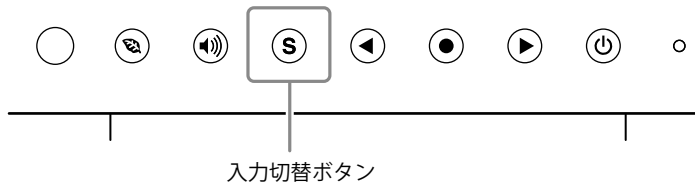
3-1 複数のコンピュータを接続する

この製品は、背面のDVI-D、D-Sub15ピン（ミニ）コネクタに複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



● 入力信号を切り替える



Ⓢを押して入力信号を切り替えます。押すたびに信号が切り替わります。なお、信号を切り替えた時には、現在表示されている信号の種類（アナログまたはデジタル）が画面右上に3秒間表示されます。

● 入力信号の切替方法を設定する [入力信号]

設定	機能
オート	コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に他の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。操作ボタンのⓈで表示させたい入力信号を選択してください。

[設定方法]

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、●を押します。
- (2) <その他>メニューで<入力信号>を選択し、●を押します。
<入力信号>メニューが表示されます。
- (3) ◀または▶で「オート」または「マニュアル」を選択し、●を押します。
設定が完了します。



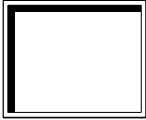


参考

- 「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

第4章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目1、2を参照してください。
- 画面に関する症状（デジタル信号の場合） → 項目6～12を参照してください。
- 画面に関する症状（アナログ信号の場合） → 項目3～12を参照してください。
- その他の症状 → 項目13～15を参照してください。

症 状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> • 電源ランプが点灯しない • 電源ランプが点灯：青色 • 電源ランプが点灯：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードは正しく差し込まれていますか。 • 電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 • <ブライトネス>、<コントラスト>、<ゲイン>の各調整値を上げてみてください（P.19参照）。 • Ⓢ で入力信号を切り替えてみてください。 • マウス、キーボードを操作してみてください。 • コンピュータの電源を入れてみてください。
2. 以下のようなメッセージが表示される <ul style="list-style-type: none"> • 信号が入力されていない場合の表示です。 例：  • 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の信号は赤色で表示されます。） 例：  	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 • コンピュータの電源は入っていますか。 • 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 • Ⓢ で入力信号を切り替えてみてください。 • シンクオングリーン信号を入力する場合は、事前にモニターの [SoG] 設定を変更する必要があります（アナログ信号入力時）（P.12参照）。 • コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（P.12参照）。 • コンピュータを再起動してみてください。 • グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。 <p>fD：ドットクロック （デジタル信号入力時のみ表示されます）</p> <p>fH：水平走査周波数 fV：垂直走査周波数</p>
3. 画像がずれている 	<ul style="list-style-type: none"> • <水平ポジション>、<垂直ポジション>調整で画像の位置を合わせてください。 • ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
4. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている 	<ul style="list-style-type: none"> • <クロック>で調整してみてください（P.16参照）。
5. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	<ul style="list-style-type: none"> • <フェーズ>で調整してみてください（P.16参照）。

症 状	原因と対処方法
6. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか (P.12参照)。 • <スムージング>で調整してみてください (P.17参照)。
7. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> • <ブライトネス>、<コントラスト>を調整してください (LCDモニターのパックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください)。 • 画面が明るすぎる場合は、Auto EcoViewをオンにしてみてください (P.21参照)。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
8. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> • この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
9. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> • これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
10. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> • 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
11. 画面にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> • HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
12. 画像が縦長に表示される	<ul style="list-style-type: none"> • モニターとコンピュータを接続するケーブルの種類が正しいか確認してみてください。(セットアップガイドを参照して、正しく接続しなおしてください。)
13. 調整メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> • 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください (P.21参照)。
14. 自動調整機能が正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 • この機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
15. 音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • ミニジャックケーブルは正しく差し込まれていますか。 • 音量が「0」になっていませんか。 • コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。

第5章 ご参考に

5-1 オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。

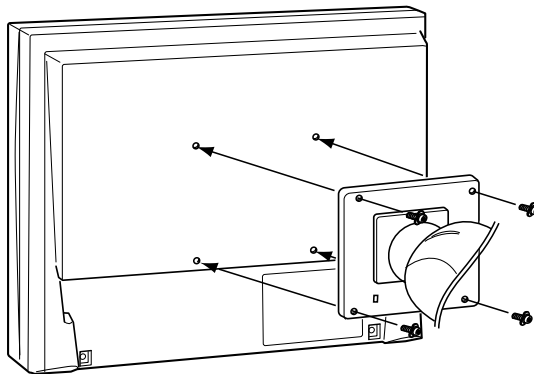
<http://www.eizo.co.jp>

[取付方法]

1 パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2 スタンド部分を取り外します。（別途ドライバーを準備ください。）
ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

3 モニターをアームまたはスタンドに取り付けます。
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。



【注意点】

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものをお選びください。取付にはこの製品に付属しているねじ（M4×12）をご使用ください。
 - 取付部のねじ穴間隔：100mm×100mm
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、以下の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上60°下45°（横表示時）
 - 上45°下45°（時計回り90°に縦表示時）
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。

5 - 2 省電力モードについて

■ アナログ信号入力の場合

「VESA DPM」に準拠しています。

[省電力の流れ]

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙

■ デジタル信号入力の場合

「DVI DMPM」に準拠しています。

[省電力の流れ]

コンピュータの設定に連動し5秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード		省電力モード	橙

【注意点】

- 電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

5 - 3 仕様

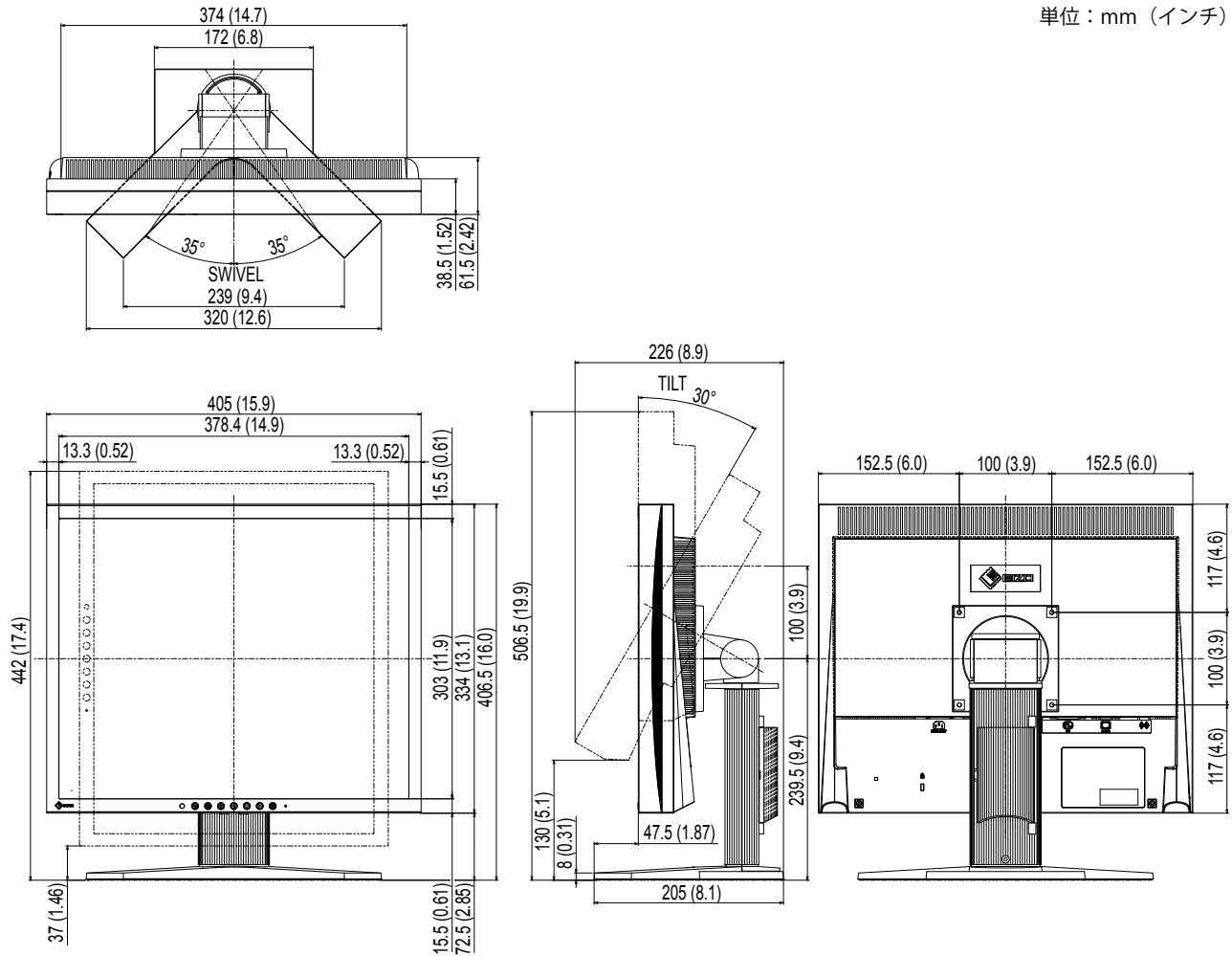
液晶パネル	48cm (19.0) 型カラーTFT、LEDバックライト、ハードコーティング 視野角：左右 178°、上下 178° CR≥10	
ドットピッチ	0.294mm	
水平走査周波数	アナログ信号入力時：31～80kHz デジタル信号入力時：31～64kHz	
垂直走査周波数	アナログ信号入力時：50～75Hz (ノンインターレース) デジタル信号入力時：59～61Hz (VGA TEXT時69～71Hz) (ノンインターレース)	
解像度	1280ドット×1024ライン	
ドットクロック (最大)	アナログ信号入力時：135MHz デジタル信号入力時：108MHz	
最大表示色	約1677万色	
表示サイズ (水平×垂直)	376.3mm×301.0mm	
電源	AC100V±10%、50/60Hz、0.7A	
消費電力	画面表示時	41W以下 (スピーカー動作時)
	省電力モード時	0.5W以下 (1系統入力時、ステレオミニジャックケーブル非接続時、[入力信号]：「オート」設定時、[SoG]：「オフ」設定時)
	電源ボタンオフ時	0.5W以下 (ステレオミニジャックケーブル非接続時)
信号入力コネクタ	DVI-Dコネクタ (HDCP対応)、D-Sub15ピン (ミニ)	
アナログ信号 入力同期信号	セパレート、TTL、正/負極性 シンクオングリーン、0.3Vp-p、負極性	
アナログ信号 入力映像信号	アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75Ω)	
デジタル信号伝送方式	TMDS (Single Link)	
音声出力	スピーカー出力：0.5W + 0.5W (8Ω、THD+N≤10%) ヘッドホン出力：2mW+2mW (32Ω、THD+N≤3%)	
ライン入力	入力インピーダンス：47kΩ (typ.) 入力レベル：1.0Vrms (最大)	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC 2B/EDID structure 1.3	
寸法	本体	405mm (幅) × 406.5～506.5mm (高さ) × 205mm (奥行き)
	本体 (スタンドなし)	405mm (幅) × 334mm (高さ) × 61.5mm (奥行き)
質量	本体	約6.0kg
	本体 (スタンドなし)	約4.2kg
可動範囲	チルト角度：上30°下0° スウィーベル角度：右35°左35° 昇降：100mm ローテーション：90° (時計回り)	
環境条件	温度	動作温度範囲：5°C～35°C 輸送および保存温度範囲：-20°C～60°C
	湿度	動作湿度範囲：20%～80% R.H. (非結露状態) 輸送および保存湿度範囲：10%～90% R.H. (非結露状態)
	気圧	動作気圧範囲：700hPa～1060hPa 輸送および保存気圧範囲：200hPa～1060hPa

主な初期設定（工場出荷設定）値

Auto EcoView	オン
スムージング	3
ファインコントラストモード	Custom
入力信号	オート
Ecoタイマー	無効
言語選択	日本語

外観寸法

単位：mm（インチ）



オプション品一覧

クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」
-----------	---------------------

オプション品に関する最新情報は、当社のWebサイトを参照してください。

<http://www.eizo.co.jp>

5 - 4 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K:Kelvin (ケルビン) で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかった白色

6500K：昼光色と呼ばれる白色

9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横 1280 個、縦 1024 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1280×1024 の解像度であれば、画像は画面全体 (1 対 1) に表示されます。

クロック

アナログ信号入力方式のモニターにおいて、アナログ信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルタに通す光の強さ (量) をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

シンクオングリーン

コンピュータからモニターに送られる映像信号の内、垂直同期信号、水平同期信号の各信号をグリーン信号に乗せて出力することです。

フェーズ

アナログ信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをお勧めします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをお勧めします。

DDC/CI (Display Data Channel / Command Interface)

VESA によって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ信号入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVI コネクタや HDMI コネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間（モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMD5 (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPM (Video Electronics Standards Association - Display Power Management)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPM はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

5 - 5 プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです（アナログ信号のみ）。

表示モード	ドット クロック	周波数		極性
		水平：kHz	垂直：Hz	
VGA 640×480@60Hz	25.2 MHz	水平	31.47	負
		垂直	59.94	負
VGA TEXT 720×400@70Hz	28.3 MHz	水平	31.47	負
		垂直	70.09	正
VESA 640×480@75Hz	31.5 MHz	水平	37.50	負
		垂直	75.00	負
VESA 800×600@60Hz	40.0 MHz	水平	37.88	正
		垂直	60.32	正
VESA 800×600@75Hz	49.5 MHz	水平	46.88	正
		垂直	75.00	正
VESA 1024×768@60Hz	65.0 MHz	水平	48.36	負
		垂直	60.00	負
VESA 1024×768@75Hz	78.8 MHz	水平	60.02	正
		垂直	75.03	正
VESA 1152×864@75Hz	108.0 MHz	水平	67.50	正
		垂直	75.00	正
VESA 1280×960@60Hz	108.0 MHz	水平	60.00	正
		垂直	60.00	正
VESA 1280×1024@60Hz	108.0 MHz	水平	63.98	正
		垂直	60.02	正
VESA 1280×1024@75Hz	135.0 MHz	水平	79.98	正
		垂直	75.03	正

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

第6章 アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、EIZOサポートにお問い合わせください。EIZOサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- この製品の保証書はセットアップガイド（裏面）にあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZOサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
保証書の規定に従い、EIZOサポートにて修理または交換をさせていただきます。お買い上げの販売店、またはEIZOサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い上げの販売店、またはEIZOサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS、システムのバージョン/表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収、リサイクルシステムについて

- ・パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収、リサイクル体制を構築しており、お客様がこの製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引き取りしています。
- ・なお、詳細な情報については、当社のWebサイトもあわせて参照してください。
(<http://www.eizo.co.jp>)

法人のお客様

この製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で業界団体「パソコン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。

(<http://www.eizo.co.jp>)

個人のお客様

PC リサイクルマークの無償提供について

この製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、この製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、次のWebサイトからお申し込みください。マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

情報機器リサイクルセンター

Web サイト：<http://www.pc-eco.jp>

※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。

(回収担当窓口は、情報機器リサイクルセンターにて対応いたします。)

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

PC リサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を情報機器リサイクルセンターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、情報機器リサイクルセンターまでお願いいたします。

情報機器リサイクルセンター

電話：0120-345-989

月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）9：00～17：00

关于电子信息产品污染控制标识



本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	○	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
 ×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
 （企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

